

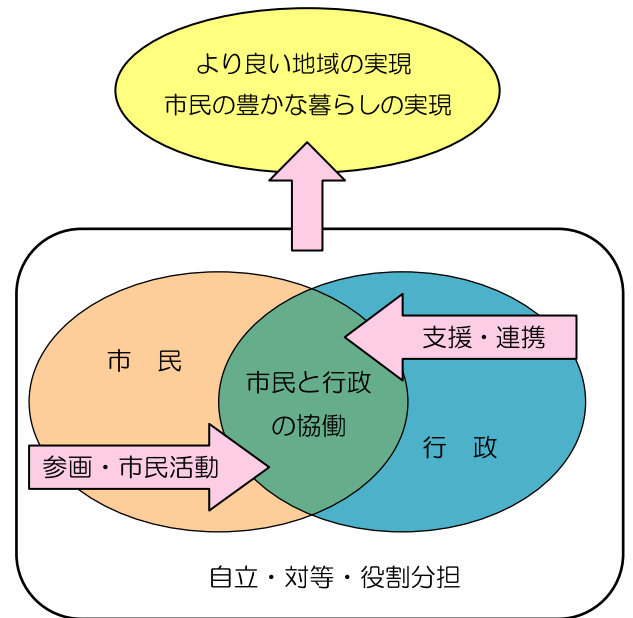
第一幕

“協働”とは？

私たちの生活しているまちを、より安全で住み良い、魅力あふれるまちにしたい…明日の岐阜市を築くため、今、“協働のまちづくり”は、みんなの共通の課題です。

“協働”とは、「市民がお互いに、そして市民と行政が、それぞれの持つ特性を活かしながら、補完し合い、協力し合い、社会的課題の解決に当たること」をいいます。

この“協働”の意味をみんなが共有するところから、“協働のまちづくり”は始まります。



『市民と行政の協働によるまちづくり』の図

●協働の理念

“協働”とは、異なる能力を持った参加者が、共通の社会目的を共有し、それぞれの資源（人的あるいは物的等資源）や特性を持ち寄り、対等の立場で、協力してともに働くことです。

岐阜市民に培われてきた“協働”の土壌をベースに、さらに明日の住民自治に向けての新たな“協働”のあり方が求められます。

●2つの協働

“協働のまちづくり”は、“**市民と行政の協働**”と、市民がお互いの理解のもとに支え合い、協力し合う“**市民相互の協働**”の2つが大きな柱となります。



コラム

“協働のまちづくり”の二つの基本的な考え方

補完性の原則

日常生活や身の回りで発生する問題は、まず自分や家庭で解決を図り、それでもできない場合は、地域（コミュニティ）で、それでもできない場合は行政が行うという考え方です。誰が、どのように問題を解決することが、最適かつ効果的・効率的か、ということです。

新たな公共の考え方

これまで公共の多くは、「行政にゆだねられてきた公共」でした。しかし、これからの時代は、みんなの“協働”で創り、育て上げる「新たな公共」の考え方が重要となります。